

平成23年度 魅力ある学校づくり推進事業計画書

1 取り組むテーマ（目指す学校づくり）

学校と地域の連携により開かれた学校づくりと豊かな心を育む教育の実践

2 テーマ設定の背景、現状等

本校は、これまで学校と地域、保護者の連携を学校づくりの柱の一つとして取り組んできた。また、平成20年度からの3年間は、国・県の「学校地域連携コーディネーター配置事業」の委託を受けて連携の実をあげてきた。

地域の人材が学校支援ボランティアとして数多く学校に来校され、さまざまな場面で学校、そして児童を支援していただいている。また、子どもたちは学習する中で幅広い体験活動や内容の深い学習体験ができています。地域の方々とのふれあいを通して豊かな心も醸成されてきた。参加された地域の皆さんは、学校や児童のよき理解者として地域に情報発信し、開かれた学校を推進する力ともなっている。

さらに、平成22年度は、佐賀大学の留学生にも来校いただき、「親子ふれあい活動」で3年生児童と保護者を対象にベトナムのお菓子作りを実施することができ、国際理解や国際交流も深まり、ボランティアの幅が広がった。

平成22年度でこの委託事業としては終了するが、これまで築いてきた学校支援ボランティアの制度をさらに続け、充実させていきたい。今年度は、すでに定着しつつある地域ボランティアによる「各教科や総合的な学習等の授業」「授業外の教育活動への参加」「校外活動で安全確保」等の実績を発展させるとともに、佐賀大学の留学生をはじめ、ふれあうことの少ない外国の方との交流活動にも取り組み、幅広い交流を進めていきたい。このような、地域や保護者、大学との連携を平成26年に開校予定である小中一貫校の礎として強固なものにしていきたい。

3 取り組むテーマの成果指標及び目標

成 果 指 標	① 学校支援ボランティアの参加人数及び参加授業等の数 ② あいさつ、言葉遣いが「とてもよくできる」と考える児童の割合
成果指標の目標 (数値目標)	(現状) ⇒ (目標)
	① 参加人数 (130人) 参加授業等数 (11) ⇒ (150人) (15) ② 「とてもよくできる」と考える児童 (36%) ⇒ (50%) ※学校評価アンケートによる
	(目標の根拠) ① 学校支援ボランティアの周知が進み、参加者が増加する。また、人数増による支援可能な授業種類の増加と学校の受入態勢の広がりによる。 ② 来校者が増え、日常的に地域の大人の方や外国の方と触れ合う機会が多くなることから、あいさつや言葉遣いがきちんとできる児童の割合が増加する。

4 事業期間

平成23年 4月 ～ 平成24年 3月

5 実施内容

(1) 協議・検討のための会議等の設置

主な構成等	人員数	開催予定回数
① 学校地域連携会議 (校長、教頭、教務、担当者、コーディネーター、公民館)	8人	5回
② 佐賀大学との連携会議 (教頭、担当者、佐賀大学)	5人	2回

(2) 予定している主な調査・研究活動

- 地域の人材を活用できる小学校の授業や行事についての調査・研究
- 学校を支援できる地域の人材についての調査・登録
- 学校を支援できる佐賀大学の留学生についての調査

(3) その他、当事業において実施する事項

- 佐賀大学の教育ボランティア事業による「サマースクール指導補助」
- 佐賀大学の教育ボランティア事業による「小学1, 2年生の算数TT 指導補助」
- 佐賀大学の留学生と、PTA ふれあい活動等における交流
- 佐賀大学の留学生による自国文化の紹介等の交流（英語活動または音楽：5, 6年）
- 学校地域夢つなぎ事業を継続する「地域ボランティア」の活動
- 総合的な学習、生活科等の校外学習時の地域ボランティアの活用
- 教育講演会の開催
- 環境学習「緑を増やそう—森林の役目、間伐材を利用した積み木遊び」（総合：5年）

※ 平成22年度における「学校・地域夢つなぎ応援事業」におけるボランティアの実績

- ・毎週金曜日朝の「読み聞かせ」 ・毎週火曜・水曜 朝の算数「のびのびタイム」指導補助
- ・野菜作り（打ち合わせから土づくり、種まき、苗植え、間引き作業、収穫まで 3年生理科）
- ・有明海についての講演（4年生総合） ・平和学習（6年生）
- ・有明海の家苔巻き体験（4年生総合） ・運動会練習支援（全学年 ダンス指導補助）
- ・家庭科ミシン実習（5・6年生家庭科） ・料理クラブ実習
- ・安全確保（スケッチ会、小中合同校外クリーン作戦時） ・書道学習指導補助（3年生）
- ・廃油せっけん作り（5年生） ・昔遊び体験（1年生） ・和太鼓実演と指導（5年音楽）
- ・収穫した野菜を使った豚汁づくり（3年生） ・農産物の話（全学年）
- ・室町文化体験（6年生社会 茶道 水墨画指導）
- ・和紙づくり（4, 5年生 牛乳パックを使った和紙作り指導）

6 教育事務所、佐賀大学、教育センター等の活用計画

実施時期 (月)	協力要請先 支援要請先	協力要請及び支援要請の内容
2月	佐城教育事務所	・教育講演会の開催 講師：教育事務所指導主事、或いは教育事務所の紹介による。
8月 9月 9月～ 11月	佐賀大学	・教育ボランティア事業による「サマースクール」指導補助 ・教育ボランティア事業による「小学1, 2年算数TT 指導補助」 ・佐賀大学の留学生による自国文化の紹介等の交流 （英語活動または音楽：5, 6年） ・佐賀大学留学生との交流 学校公開日の親子ふれあい活動において3年生との交流。
6月	オイスカ (公益財団法人)	・環境学習の取組、外国の方との交流 （6月親子ふれあい活動での5年生の活動）